

2010 年度

GNC 活動報告

平成 22 年 3 月



ハワリンバヤル (2010年5月2日～3日)

今年のアワリンバヤルも、大勢の方がご来場してくださいました。

お天気が快晴で、春というより夏バヤルでした。

モンゴルカレッジにあわせて展示写真を「人との出会い編」に、チラシも一新しました。



モンゴルカレッジ (5月3日)

「本当に役立つ国際協力ってなんだろう？」

というコンセプトで、人との出会いから広がっていく、モンゴルでの GNC の活動を紹介しました。



三宅島スタディツアー (2010年5月29日～31日)

2010年5月29日から5月31日まで三宅島スタディツアーを実施しました。

在日モンゴル留学生6人参加、デルゲレナラン バヤルさん、エンフゾル バザルサドさん、ゾルザヤ ガンボルドさん、元在日モンゴル留学生会会長のボルドマー ジャルガルサイハンさん、在日モンゴル留学生会会長ドゥルグーンさん、プレブドルジ オチルバトさん。留学生は皆、環境問題について興味があり、三宅島森林組合の守屋様のお話しに聞き入っていました。活発な質疑応答がなされ、勉強会は貴重な体験となりました。ヤブツバキ、ヒサカキ、オオバイボタ、合計120本の植林しました。



三宅島 雄山 120本植林達成、記念撮影

君津環境整備センター見学（2010年7月24日）

2010年7月24日に君津環境整備センターへの見学を実施しました。

君津環境整備センターは、千葉県南部、房総丘陵のほぼまん中にあります。



【君津環境整備センターについて】

首都圏の産業廃棄物を埋め立てています。埋め立てた廃棄物から発生する浸出水の土壌への浸水を防ぎ、浸出水処理施設によりきれいな水に再生後に河川に放流しています。（第一期：埋立面積 53000 m²、埋立容量 107 万m³）



左が処理水、右が原水

【8層に及ぶ遮水構造】1.短繊維不織布（10mm） 2.遮水シート（1.5mm）3.短繊維不織布（10mm）
4.漏水検知システム 824 個（824 本）精度 1M 単位 5.遮水シート（1.5mm）6.自己修復シート（4mm）
7.短繊維不織布（10mm）8.基礎地盤遮水層

エコツアー（2010年9月4日～11日）

<108学校 エコ授業>

9月6日は108学校へ行き、「エコ授業」を行ってきました。

108学校とGNCとは、2005年から付き合いがあります。少しずつですが、一緒に学校を変えていっています。

以下の写真でわかるように、2005年、GNCと一緒に植樹した木が、今ではこんなに立派になりました。



エコ授業は、日本のゴミ処理について説明し、モンゴルのゴミ処理について考えてもらうという、講義形式で進めました。

「日本の写真を見て、モンゴルのゴミ山の写真を見たら、『えー！』って思った」

「ゴミはゴミ箱に。少し歩けばゴミ箱があるけど、皆そこに捨てない」

「ゴミ箱をもっと増やすべきだ」...等等など、多くの感想が寄せられました。



<エコロジー教育センター エコ教室>

9月8日は、エコロジー教育センター、108学校、新モンゴル高校、23学校、18学校の計5校の生徒を集め、100人の子供たちに対して「エコ教室」を実施しました。

モンゴルのテレビ局TV5とETVのインタビューを受け、夜にはテレビで全国放送されました。



エコロジー教育センターに勤めていながら、GNC Mongoliaのスタッフの一員でもあるナサンさんのお陰で、昨年よりスムーズに進めることが出来ました。

まずGNCの代表、いっぺいさんがGNCの活動について紹介しました。



その後エコロジー教育センターのボヤンヒツィグ先生が、様々な国の公園のスライドを紹介しました。最後には、日本に留学しているモンゴル国出身の学生が、日本とモンゴルのゴミ処理について比較しました。



講義の後、各学校に1本ずつ、会場に記念植樹をしました。全員で集合写真を撮りました。



<バヤンチャンドマン村 モデル緑化村づくり>

子供たちに対してだけでなく、村を巻き込んだ環境教育も昨年からはまりました。

ウランバートルから車で1・2時間程のバヤンチャンドマンという村で、「モデル緑化村づくり」を少しずつ進めています。

何より素晴らしいのは、モンゴル人スタッフが中心となって計画を立て、調査し、村の緑化を進めているという点です。今年の春に10世帯を選んで、各家庭に植樹し、7世帯が成功しました！！

水場は遠く、家から1・2キロ離れているのが普通です。地方では、蛇口を捻ると水が出るわけではありません。それでも協力してくれる彼らには、頭が下がります。

彼らの話を直接聞くことで、様々な工夫への驚きや、お互いに助け合っていることへの喜びが湧き上がってきました。

特にやる気のあるガムボルトさん。



そして、おしゃれで可愛い好きなドルマーさん。



水を買うのがあたりまえのモンゴルで植物を大きく育てるためには、水遣りが鍵になります。



(HP上に別途感想文を記載しています)

バヤンチャンドマンの見学には、青年海外協力隊の牛嶋(右)さんと、ジェンダーセンターのアリオナさん(左)が見学に来ました。私たちの活動が、少しでも参考になればうれしいです。

<早稲田大学の学生を案内>

最終日には、GNC の活動の見学を希望していた早稲田大学政経学部の大学生 17 人をバヤンチャンドマン村に連れて行くことになりました。住民の熱心な緑化活動の姿を目の当たりにし大いに刺激になったようです。また、日本のたくさんの若者たちと交流でき、住民もバットゾリグさんもとても楽しんでいました。



報告会および忘年会 (2010 年 12 月 12 日)

モンゴル国から来日中の GNC Mongolia のツォゴーさんとバットゾリグさんが参加し、GNCミーティングと 2010 年忘年会を行いました。



ホワイトボードに図面を書き日光温室についての説明中のツォゴーさん。

バットゾリグさんによる苗畑事業についての報告。バットゾリグさんの通訳は日本語が上手なツォゴーさん。18 時から 2010 年忘年会、モンゴル人留学生達も参加しました。楽しいひとときを過ごすことが出来ました。



協力企業・団体の方々にご報告（2010年12月13日）

<RAUL 株式会社>



ツォゴーさんバットゾリグさんと共に RAUL 株式会社を訪問しました。
現地で働く二人からの生の話に、江田社長（中央）との面談は盛り上がりました。
<トライウォール株式会社>



トライウォール株式会社へは、ツォゴーさんバットゾリグさんは初めての訪問でした。
「大学演習林を継続的に支援して行きたい」と鈴木社長より将来を見据えた言葉を頂戴しました。

<SOTO 禅インターナショナル>



SOTO 禅の皆様とは 市ヶ谷の研究室で面談しました。23年度に藤沢の長福寺から5～6名が参加するモンゴルツアーを計画されていると亀野様よりお話がありました。終了後は、近くで懇親会を開き、楽しい時間を過ごしました。

山口教授による日光温室の説明 (2010年12月19日)

筑波大学前教授 山口氏による日光温室の説明を聞かせていただきました。
スライドを使つての資料説明は、大変分かりやすいものでした。



中央 (山口氏) 右隣 (オイスカ岡田氏)